

真鶴

# 議会だより

第22号  
平成16年2月  
(2004年)



どんど焼き



町の木  
くすのき

もくじ

12月定例会.....2

一般質問.....5

平成十五年十二月定例会は、十二月十九日に会期一日で開きました。

この定例会では、専決処分一件をはじめ、人事関係三件、条例一件、契約一件、町道路線の認定・廃止・変更と補正予算七件が提案され、すべての議案は可決されました。

一般質問は四人の議員が八項目にわたり行いました。

(任期 平成十五年十二月二十日)  
四日～平成十九年十二月二十三日

# 12月定例会

平成15年12月19日

## 一般会計補正予算（第四回）

十月十日に衆議院が解散され、

十一月九日に選挙が執行されましたが、これに係る経費について予算措置を講じるのに急施を要するため、地方自治法の規定により専決処分をしたものです。

内容は、歳入で、県支出金の

総務費委託金六百九十六万九千円の追加、歳出で、総務費の衆議院議員選挙費七百万六千円の追加と予備費を三万七千円減額したものです。

## 人事

### 教育委員会委員の任命について

現委員の松崎信さんの任期が平成十五年十二月二十三日満了となるため、再任することについて議会で同意されました。

## 条例

### 真鶴町税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法等の一部を改正する法律により、軽自動車税申告書の様式の全国統一化に伴い、鶴町税条例の一部を改正する必要が生じ、所要の改正がされました。

## 専決処分

### 人権擁護委員の推薦について

現委員の平井義輔さんの任期が平成十六年二月二十九日満了となるため、再び法務大臣に推薦することについて議会で同意されました。

## 契約

### 工事請負契約の変更について (平成十四年度(仮称)真鶴町地域情報センター建設工事)

会で議決された工事に係る契約の変更です。  
内容は、残土搬出方法の変更及び既存基礎の数量変更等に伴い、工事請負契約を変更するものです。



## 真鶴 議会だより

# 町道路線

## 町道路線の認定について

開発行為に伴う用地帰属により、町道路線の認定がされました。

路線名 真第650号線  
起点 真鶴町岩字専祖畑  
終点 二三五番一地先

議会負担金の追加。農林水産業費の農業総務費で、お茶加工施設整備事業に対する補助金の追加。教育費の小中学校、幼稚園費で、施設設備に係る修繕料の追加などが主なものです。

下水道事業特別会計補正予算(第二号)

路線名 真第653号線  
起点 真鶴町岩字専祖畑  
終点 二二〇番八地先

議会負担金の追加。農林水産業費の小中学校、幼稚園費で、お茶加工施設整備事業に対する補助金の追加。教育費の小中学校、幼稚園費で、施設設備に係る修繕料の追加などが主なものです。

# 補正予算

## 一般会計補正予算(第五号)

路線名 真第653号線  
起点 真鶴町岩字専祖畑  
終点 二二〇番八地先

既定の歳入歳出予算からそれとすると、九百四十一万一千円減額し、総額を十億三百五十九万六千円とするものです。

既定の歳入歳出予算からそれぞれ九百五万四千円を減額し、総額を三十二億四千四百七十七万八千円とするものです。

開発行為に伴い路線の一部が開発道路と重複し、一般交通の利用に供する必要がなくなり、町道路線が廃止されました。

路線名 真第652号線  
起点 真鶴町岩字専祖畑  
終点 真鶴町岩字専祖畑

歳入は、地方特例交付税及び地方交付税の普通交付税が確定したことによる追加と減額。繰入金で財政調整基金の財源確保のため、財政調整基金繰入金の減額。町債の減税補てん債及び臨時財政対策債で、起債上限額の確定による追加などが主なもので

## 国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第一号)

路線名 真第652号線  
起点 真鶴町岩字専祖畑  
終点 二二六番七地先

歳出は、議員、特別職を含め人事院勧告に基づき、職員手当等の改定処理と人事異動に係るものなどを併せ調整したものであります。そのほか、総務費の合併対策費で、住民意向調査に係る協

## 町道路線の変更について

用地帰属により道路に異動が生じたため、町道路線の変更がされました。

歳出は、議員、特別職を含め人事院勧告に基づき、職員手当等の改定処理と人事異動に係るものなどを併せ調整したものであります。そのほか、総務費の合併対策費で、住民意向調査に係る協

費補助金の追加。繰入金で、職員給与費等繰入金を追加し、事務費繰入金を減額するものです。

上水道事業会計補正予算(第二号)

国健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第一号)

真鶴魚座特別会計補正予算(第二号)

上水道事業会計補正予算(第二号)

今回の補正予算は、歳出のみの補正です。人事院勧告に基づく職員手当等の改定による人件費の追加と国の介護費用適格化特別対策事業に係る機器購入費の追加などが主なものです。

上水道事業会計補正予算(第二号)

真鶴魚座特別会計補正予算(第一号)

今回の補正予算は、収益的収入及び支出と資本的収入の補正です。

真鶴魚座特別会計補正予算(第一号)



## 12月定例会で審議した議案と結果

議 案 名	審 議 結 果
専決処分の承認を求めることについて(平成15年度真鶴町一般会計補正予算(第4号))	承 認 (全員賛成)
教育委員会委員の任命について	同 意 (全員賛成)
人権擁護委員の推薦について	同 意 (全員賛成)
人権擁護委員の推薦について	同 意 (全員賛成)
真鶴町税条例の一部を改正する条例の制定について	可 決 (全員賛成)
工事請負契約の変更について(平成14年度(仮称)真鶴町地域情報センター建設工事)	可 決 (全員賛成)
町道路線の認定について	可 決 (全員賛成)
町道路線の廃止について	可 決 (全員賛成)
町道路線の変更について	可 決 (全員賛成)
平成15年度真鶴町一般会計補正予算(第5号)について	可 決 (全員賛成)
平成15年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)について	可 決 (全員賛成)
平成15年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第2号)について	可 決 (全員賛成)
平成15年度真鶴町下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可 決 (全員賛成)
平成15年度真鶴町真鶴魚座特別会計補正予算(第2号)について	可 決 (全員賛成)
平成15年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について	可 決 (全員賛成)
平成15年度真鶴町上水道事業会計補正予算(第2号)について	可 決 (全員賛成)

**あなたも議会を  
傍聴してみませんか**

議会の傍聴は町政の動きや議員活動、議会運営などを知る最も良い方法です。手続きは簡単です。お気軽におでかけください。

次の定例会は、3月に行われます。日程などは3月上旬の議会運営委員会で決まります。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

**☎68-1131**

内線 362~363

今、地球温暖化をはじめ、地球的規模での環境破壊が進んでいることは周知のとおりである。わが町においては、真鶴半島美しい自然環境をこれ以上破壊しないとの認識の下に、半島利用計画について商工会を中心となり検討を重ねているところである。

そこで半島への車乗り入れ禁止の対応策として、観光客用の

なぜ車の乗り入れを禁止するかというと、半島には三百五十

## 回 答

**Q1**

### 環境教育の充実を

今、地球温暖化をはじめ、地球的規模での環境破壊が進んでいることは周知のとおりである。わが町においては、真鶴半島美しい自然環境をこれ以上破壊しないとの認識の下に、半島利用計画について商工会を中心となり検討を重ねているところである。

最近ゆとりある教育を目指して、二学期制を取り入れる自治体が多くなってきている。

二学期制とは、これまでの一

年間三学期であった学期制を前

**Q2**

### 二学期制導入について

今後も今まで以上に、積極的に環境教育を推進していく考えです。

環境教育について、環境問題解決の具体的行動が求められる中、各学校では理科、社会などの教科また特別活動で様々な環境学習の取り組みを進めているところです。

年近い年数をかけて育った黒松、楠等の大きな木があり、また多くの小動物も生息しています。私の基本的な考えは、車の乗り入れをストップし、緊急車両以外は入れないというのが持論です。ただし、交通弱者については、何かを考えなければならぬ。駐車場の整備をしていく中で、これらの環境に優しいエネルギーはないものか、研究していきたいと考えています。

期が四月から九月、後期を十月から三月の一学期制に区切り学習することである。教育的意義として、すでに昨年度からモテル校として導入している金沢市での効果として挙げていること

は、教員の学習指導などの意識改革や、長いスパンを生かし充実した学習活動と評価ができたことなどが報告されている。本町においては、現在小学校の統合問題が検討されていると



真鶴小学校

# Q&A

## 一般質問

ところだが、新しい学校の誕生を目指して、二期制導入について論議及び調査研究を進めていく考えはないか。

四

答

二学期制になると、学校の管  
理運営規則の改正も必要となつ  
てくるので、今、各団体あるいは  
は学校では、この調査をかけな  
がら、様子を見ているところで  
す。

二学期制導入にはさまざま  
メリット、デメリットがあります  
が、今までやつてきた三学期  
制の様々な仕組みを変えていか  
なければなりません。

県内の市町村の状況を確認しながら、どのように取り組んでいくのがいいか、情報を取り入れながら調査、研究を進めてきてています。ただし、保護者の理解、協力が得られない前に、独断でこの制度を取り入れることは避けたいと考えています。

また、統合後の新しい学校の経営計画の中には、二学期制は今のところ含まれていないといふことだけお伝えしておきます。

岩小学校の跡地利用について  
きたい。

Q3

## 小学校統合の 諸問題は

新しい小学校の設立に向けて、校名、校歌、校章の制定、その他調整課題についての今後の取り組みと、岩小学校の跡地利用計画の具体化をどのような段取りで行なうのか。

新しい学校の名称を決める方  
法は、推進協議会の中で新しい

いは今現在、在籍する子供たちに名前をもらう。そして、内容を協議、整理して教育委員会なり町に提案してもらい、また、議会のご意見もいただき、最終的に判断していきたい。

は、ひなづる幼稚園が建替えの時期に来ているので、岩に持つていつたらどうかと町民の皆さんにもお話をしています。

さんが貸した土地なわけで、あの土地をまた従来どおり貸してもらえないかと今、作業に入っているところです。

た中心地にお寺があり、そこに寺子屋があり、それがやがて小学校になったのです。お寺さんは愛児園をやつしていました。愛児園がなくなり、そして来年四月から小学校がなくなります。もう一切子供たちの声がなくななるというのならば、幼稚園を小学校跡地にということは、時宜を得た事業ではないかと私は思っています。

# Q4 町営住宅の 入居基準は

高齢者世帯や独居老人と若者  
世帯との共生の場として、特色  
ある町営住宅の実現が期待され  
ているが、入居者の具体的な人  
選は、どのように行なうのか。  
その基準づくりというものがあ  
るのならば、いつ頃までに示さ  
れるのか、予定を伺いたい。

四  
答

新たに整備される公営住宅への入居については、公営住宅法第二十四条に、現在居住してい



## 真鶴 議会だより

でそれが通じるのかという意味では、危惧しています。けれども敢えて、真鶴町長として派兵反対などということはいたしません。質問されたから答えたと。いうことで、私の平和に対する考え方を理解していただきたいと思います。

## Q8 合併の住民意向調査について

十月に配布された住民意向調査の中で出された、住民の要望や意見、合併に関する危惧、これらに町としてどう答えていくのか。

合併についての十分な判断材料と情報を提供し、住民が理解を深めて納得した形での選択ができるようにするべきと思う。また、住民投票の実施をして欲しいといつづけても伺う。

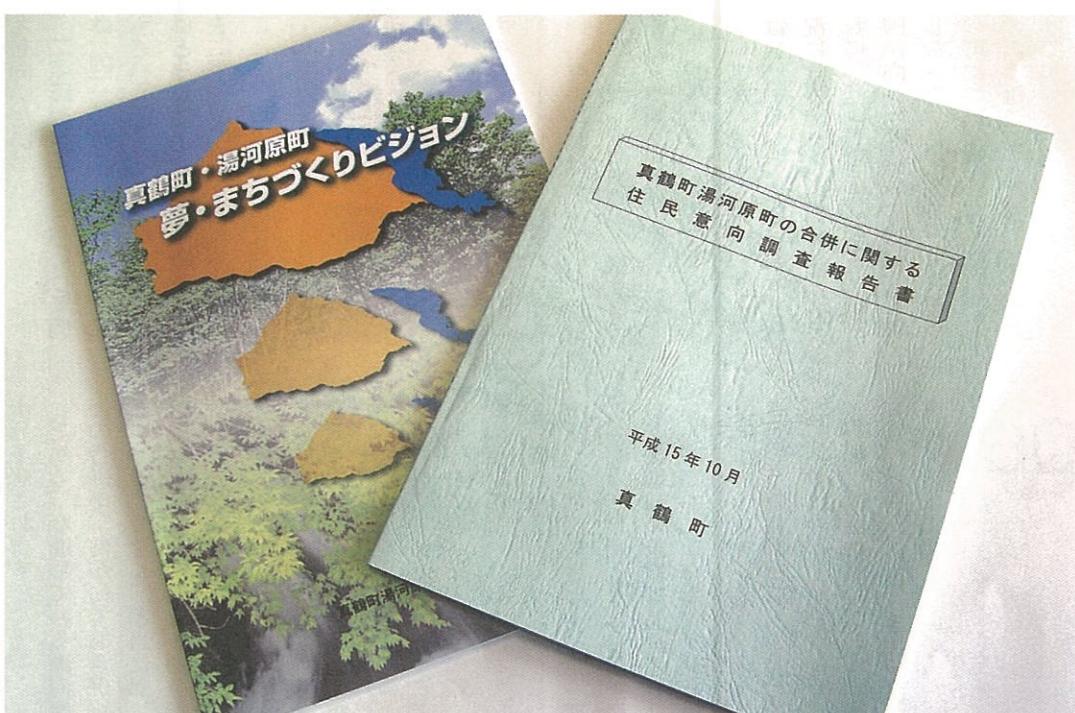
回 答

58%のアンケート結果の中で、合併に賛成した訳ではないが、今協議会で協議を続けていく

ここには70%が賛成しています。真鶴町の総合計画においても3,000の意見が集まっています。893の意見を集合させたまちづくり計画ができている。その延長線上で合併を考えてい

ます。  
重点的に進めるのは、保健と医療と福祉です。これらをきちんと進めてくださいということを求められています。

二番目に自然環境の保全、そ



不安とするものは、税や使用料、公共料金が上がってしまうのではないか。中心市街地ばかり栄えて、真鶴が今より寂れるようなことはないか。そのようなことのないように、単なる窓口だけの支所ではなく、そこに福祉の拠点を置き、診療所があり、社会福祉協議会があり、保健センターも置き、ここを過疎化させないということも考えて

います。

合併の是非については、約70%の町民の賛成がなかつたら、合併賛成とは言えないと思っています。アンケートが51対49で賛成だとは一切考えていません。

住民投票については、私からはしません。議会からや住民の直接請求が出されたときにはいたします。

町民が合併の内容がわからぬことのないように、あれだけの物量で印刷物も流しているのですから、私どもやりますがその解説ぐらいは、町議会議員さんにやつてもらいたい。その点をよろしくお願ひいたします。

真鶴町議会だより編集委員会

委員長	神野 秀子
副委員長	長谷川勝己
委 員	青木 雅人
	岡ノ谷佳子
	福井 弘行
高田 昇	

編集後記

この議会だよりは再生紙を使用しています